

特集

保育園・小・中学校の新たな歩み

令和4年4月から、町内の保育園は認定こども園「にちなん十色（といろ）」としてスタートします。

また、令和4年1月、保育園・小・中学校を一体的に運営するための「学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールがスタートしています。

今回の特集では、新たにスタートするこの2つについてお伝えします。



Check!

1 どうして認定こども園に変わるのか

幼稚園の機能と保育園の機能を兼ね備えた認定こども園にすることで、就学前の教育・保育を一体として捉え、一貫して取り組むためです。具体的には次のようなメリットがあげられます。

- ① 受け入れられる子どもの条件が広がる
- ② 1歳から5歳の異年齢の中で生活するので、主体性や学びにつながられ、思いやりの心がより育つ
- ③ 幼児教育を取り入れるため、小学校教育との連携・交流が密になる
- ④ 育児相談などの子育て支援のサービスを行うため保護者の不安軽減につながる
- ⑤ 新たな幼児教育・保育文化が形成され、担任同士

幼児教育
を行う
幼稚園



保育中心
に行く
保育園



子育て
支援する
施設



「幼保連携型」認定こども園



「メ」は交わりを表しています。上部の「メ」は祖先の霊との交わり、すなわち学問や芸術、文化との交わりを意味します。下の「メ」は仲間との交わりを意味します。

『學』の字こそ

「コミュニティ・スクール」だ



漢字の上部の面脇は、子どもの交わりをサポートし、導いている大人の両手を意味しています。



建物の意味を表しています。



下の子は幼い子どもを意味しています。



2 日南町が目指す姿

「コミュニティ・スクールを通して」

これまで広報にちなんでお伝えしてきたコミュニティ・スクールがついに1月からスタートしました。

CSサポーターの方々をはじめ、町民の皆様にはご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

今回は日南町が目指すコミュニティ・スクール像についてお伝えしたいと思います。



青戸晶彦教育長

